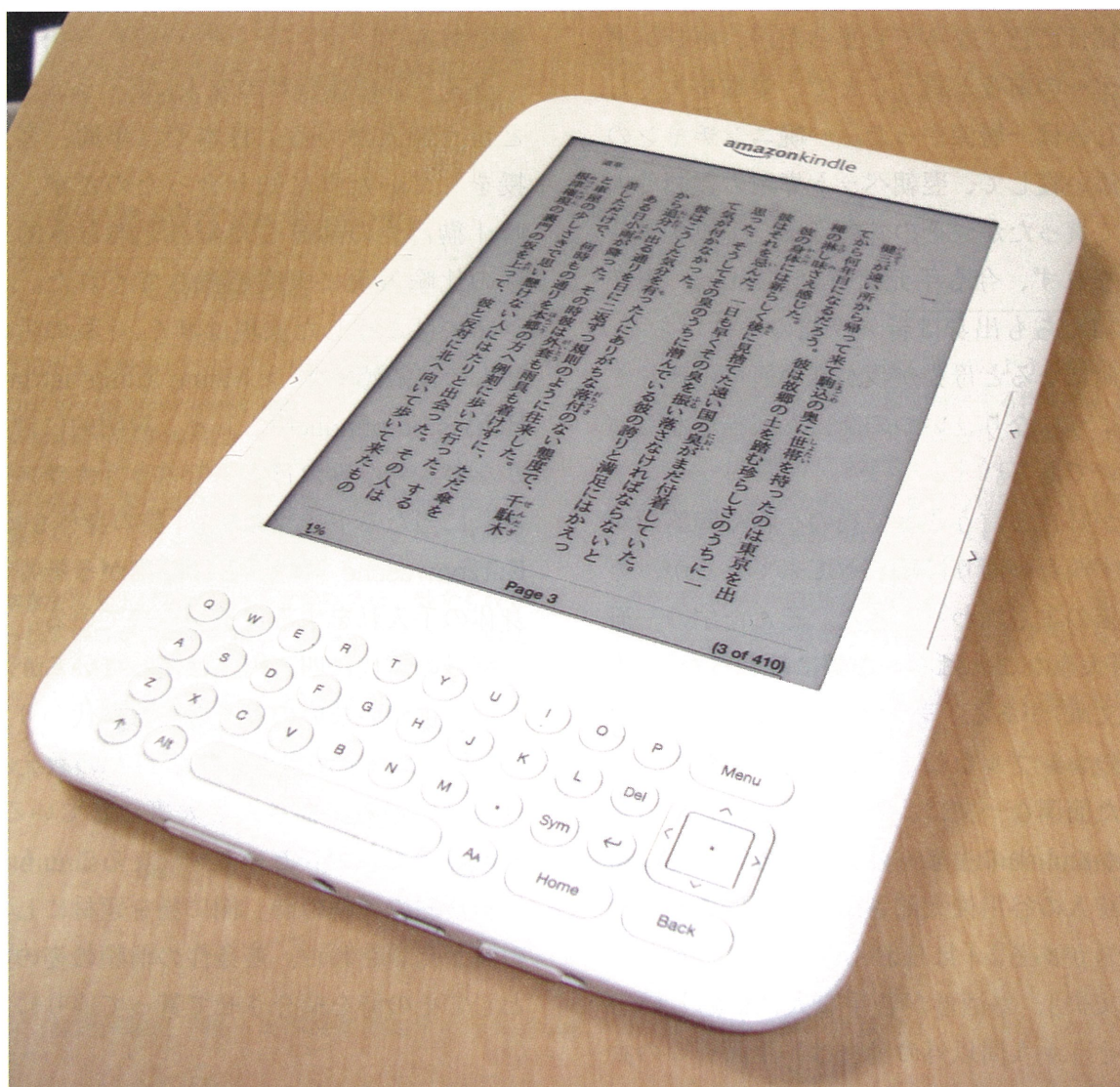


閲覧ニュース

108号

2011.4



『大事なことはみ～な猫に教わった』か?!

杉 本 省 邦

17匹の猫と暮らしている。時々餌を食べに入ってくる非常勤の外猫を加えると20匹位になる。縁側に面した硝子戸を15センチ位、常時開けてあるので猫が自由に出入り出来るようになっている。一番長生きした牡の黒猫ニンチャンは19年間一緒に過ごした。六年前の2月13日に亡くなってしまったが、バレンタインデーの前夜と言うことで、愛猫を失くした悲しみは一層深かった。一晚ニンチャンの横に添い寝して、翌朝ペット専用の霊園で火葬して貰ったが、その骨壺はまだ手放す気持ちになれず、今も手元に置いてある。現在いる猫たちも出身は皆ノラ猫の子供たちで、離乳期になると母猫が我が家の餌場に連れて来るようになり、いつの間にか家猫になるパターンである。

猫が好きと言うことで猫の小物や陶器類が少しずつ身の回りに集まって来ているが、そこに猫の本も加わってきた。そんな中の一冊に、『大事なことはみ～な猫に教わった』（小学館文庫）がある。著者のスージー・ベッカー女史のシンプルな絵とそれに付けられた箴言めいた簡潔な一文は、猫の生態を通してのしなやかな人生の生き方の指南書と言える。訳者は詩人の谷川俊太郎さん。例えばこんなフレーズがある。「毎日おんなじものを着たって大丈夫」、お洒落が苦手な人には嬉しい一文。そうか人間以外の動物は、生涯一つの衣服（毛皮）で 過ごすのだ、と改めて納得して、本当に必要なものと、無くても済ませられる欲望との違いに気付く契機に成るかもしれない。「よばれるたびに、行かなくてもいい」、我が家の猫たちも正にこの通りで、他人に振り回されるな！、自分の人生は自分が

主人公である必要があるというマイペースの教え。ゆるめの雰囲気の内挿とこうしたフレーズが絶妙の相乗効果を醸し出している。猫の部分进行自分が好きな他の動物に置き換えて読んでみても、納得できる箇所も多いと思うので、ペット好きの学生さんにお薦めの一書である。

ウィーンに住む私の友人にF・シュマツツと言う詩人がいる。日本で二年間、客員教授をしていた際に知り合ったのだが、ある時「猫舌」の話をしたら、その日本的な感性の比喩表現に大変感激してくれた。ドイツ語にはこうした表現は無く、「私の舌は熱いものに敏感です > Meine Zunge ist gegen HeiBes empfindlich < 」と、説明的に言うしかない。ちなみに日本語で言う「カラスの行水」に当たるドイツ語は、「猫の身体なめ > Katzenwäsche < 」。これは猫がそそくさと身体の手入れをする様子から来ている。

毎月の餌代に四万円位は使っているが、私には子供がいないのでその養育費代わりと思い、「愛はお金が掛かるのよ!!」の教えと受け取っている。猫さんを大事にしていると、思いがけないプレゼントを貰えることもある。産経新聞の「朝の詩」欄に猫を題材にした私の詩が掲載された。無条件の信頼の姿の教えとしてその詩を紹介させて貰って終りにしたい。

柔らかなるもの
呼べば 駈け寄ってきて
ひまわりの 花の陰 身をすり寄せる
身を委ね 信ずることの 柔らかな
この魂 わが猫よ、

(基礎教育センター・外国語)

こ の 一 冊

平井清子

『霧のなかのゴリラーマウンテンゴリラとの13年』

ダイアン・フォッシー著 羽田節子/山下恵子訳 平凡社ライブラリー

Fossey, D. (1983) *Gorillas in the Mist* Mariner Books.

これは、マウンテンゴリラの最後の楽園であるアフリカ、ヴィルンガの森で、一人の女性霊長類研究家が、十数年を野生のゴリラたちとともに過ごし、その生態を観察した記録です。これを読むと、野生動物の保護がいかに多くの問題を絡み、いかに難しいことなのか、ということがわかります。前半で明らかにされた、愛情あふれる愛すべき生き物であるゴリラたちの幸福な生活とその命が、ページを追うごとに次々と密猟者によって亡きものにされていくのは、読んでいて苦しくなるかもしれませんが、特に将来、動物に関わる仕事を考えている皆さんには、目をそむけずには是非読んでほしい、学ぶことの多い作品です。他学部の皆さんにとっても得るものが多いことでしょう。ゴリラの赤ちゃん一匹が動物園に運ばれるためには、母親はもちろん、守ろうとするその群れ

の多くのゴリラが殺されている事実を、あなたは知っていましたか。作者であるダイアン・フォッシーは、この本の日本語版の出版を待たず、1985年12月26日にカリソケ研究センターの長年過ごしたキャビンの中で何者か(密猟者によるものと考えられている)によって殺されます。

彼女の死からすでに26年が過ぎ、野生動物保護の問題は新たな局面を迎え、急務として存在しています。この本によって多くのことを知り、考え、そして動物に対する深い愛情を育んでほしいと思います。また、英語で書かれた原書“Gorillas in the Mist”もお薦めです。英語に少し自信のある人は是非チャレンジしてください。野生動物に関するたくさんの用語や表現が学べますし、何より、彼女のハートがダイレクトに感じられるからです。

(基礎教育センター・外国語)

図書館の本棚から

伊藤茂樹

『英語で味わう日本の文学』

坂井孝彦著 東京堂出版

請求記号 837.4 Sa29

海に出て木枯帰るところなし (山口誓子)

A gust of cool wind works hard

on going out to the sea—

Now no way to come home but only to disappear here

文学作品を他文化圏の人々に理解できるように伝えるのは難しい。とくに、日本語というあいまいな言語を論理的な英語という言語に置き換えるという困難である。本書で取り上げられている文学作品は、散文も取り上げられているが、翻訳の難しい俳句・和歌などの韻文も多く取り上げられている。本書において日本文学を忠実に訳すというより英語圏の人が理解し味わえるような英訳をめざしている。著者は冒頭で、文学の英訳はまず「原文をほぐす」という作業が必要だと述べている。「原

文をほぐす」とは原文を英訳しやすいように的確に解釈し、英語の論理にあうよう和文和訳する作業である。それをもとに「英語への転換」がなされ、最後に、英語文化圏の人々が無理なく理解できるように「英文の点検整理」される。冒頭にあげた、誓子の句の英訳においても、but only to disappear hereという原文にないフレーズを加えることにより、英語の論理にあう英訳がされているのがわかる。文学作品の英訳とは、原文では、意識をしなかったことを解釈という作業により眼を向けることができ、より深い原文理解につながるのではないだろうか。英語を学ぶだけでなく、日本文学を違った観点からみるということでも本書は有益である。

(教養図書館)

開館スケジュール

	開館時間
4月11日～7月末（前期試験終了）まで	平日 9：00～19：00 土曜 9：00～13：00
前期試験終了後～後期授業開始まで（9月初め）	平日 9：00～17：00 土曜 閉館
9月初め～年末まで	平日 9：00～19：00 土曜 9：00～13：00

休館日：日曜日、祝日、第2・4土曜日、本学記念日

そのほか、臨時閉館や開館時間の変更があるときは、その都度掲示でお知らせしますのでご注意ください。

機械で読む小説

高 橋 勇

みなさん、小説はどんな形で読んでいますか？
文字が印刷された紙がとじられた「本」を本屋で
買ってきて、ページをめくりながら読んでいく、
そんな姿が思い浮かびますが、最近では、電子的
な書籍が話題になっています。

表紙の写真は、ネット通販会社の最大手
Amazon 社が発売した読書用端末「Kindle（キン
ドル）」です。表示しているのは夏目漱石の小説「道
草」の冒頭の一節。著者没後50年以上経過して著
作権が消滅しており、誰でも無料で読むことがで
きます。

「機械で物語を読む」という発想は、コンピュー
タが登場した初期のころからありました。

ゲームの世界では1970年代にマサチューセツ
工科大学の学生たちが、文章で表現された世界の
中を冒険するゲーム「ZORK」を開発。後にイン
タラクティブフィクションと呼ばれるジャンルに
発展します。

日本でも1988年にシステムサコムという会社が
「パソコンで読む小説」ノヴェルウェアシリーズ
を展開。これは挿絵風の絵とともに小説のような
文章が表示され、ときおりユーザがする選択に
よって話の展開が変わる小説風のゲームでした。

電子書籍を読むための専用機械の一般への販売
は、ソニーの「データディスクマン」（1990年）
が最初だと言われています。ただしこれは電子辞
書としての利用を想定していたためノートパソコ
ンのような形状でした。

現在の読書用端末に近い形のものは1993年に
NECが発売した「デジタルブックプレイヤー」
が最初ようです。書籍データはフロッピーディ
スクで販売され、それを本体に差し込んで使って
いました。

その後、文書の取得にインターネットが使われ
るようになります。冒頭の夏目漱石「道草」は、
著作権が消滅した作品を中心に無償で提供する電
子図書館プロジェクト「青空文庫」からダウンロ
ードしたものです。電子化や校正などの作業はボラ
ンティアで行われており、2010年末時点での収録
作品数は9000件以上。小説や物語は約3600件、他
に論評やエッセイなども掲載されていて誰でも無
料で読むことができます。

若い世代を中心に携帯電話が普及してからは、
それで本を読む文化も生まれました。2007年に大
ブームとなったケータイ小説は記憶に新しいとこ
ろでしょう。

そして2010年、アップル社のiPadの発売を皮
切りに、サムスン電子のGalaxy Tab、ソニーの
Reader、シャープのGALAPAGOSなど、各社か
ら電子書籍が読める様々なモバイル機器が発売さ
れ「電子書籍元年」とも言われるようになりました。

今後、読書のスタイルや本の購入の仕方はさら
に変化していくでしょう。みなさん、過去の名作
を新しい環境で読んでみませんか？

（基礎教育センター・情報科学）

閲覧ニュース108号 2011.4 発行

発行責任者 江 川 徹

北里大学教養図書館

〒252-0373 相模原市南区北里 1-15-1

電話 (042) 778-8005